

STOP！子どもの貧困 東京ユースミーティング

STOP! Child Poverty Tokyo Youth Meeting

5.17 集会・パレード@日本青年館

326万人。6人に1人の子どもが貧困状態の日本。

その割合は増え続け、放置しておけば、さらに増え続けるでしょう。

大人になっても貧困のままという連鎖を「ほっとけない」学生たち。

全国各地で、学習支援などに多くの学生たちがすでに動き出しています！

同世代として、つらさを抱えながら生きている子どもたちとともに生きていきたい！

札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡など各地でユースミーティングを企画していきます。

オープニングは、5.17東京@日本青年館

子どもの貧困対策に学生たちの声や意見をぜひ活かしてほしい！！

大臣や各政党代表に直接、私たちのアツイ・熱い想いを伝えたい！！！！

ご参加いただいたみなさまに心からお礼申し上げます。

日時 5月17日(土)午前9時～13時

会場 日本青年館 中ホール

主催 STOP！子どもの貧困ユースミーティング実行委員会・あしなが育英会

内容 【第1部】9時～9時50分

子どもの貧困対策「リレートーク」

あっとすくーる(大阪)、NPO佐倉こどもステーション(千葉)、キッズドア(東京)、ここわらねっと(北海道)、しんぐるまざあず・ふぉーらむ(東京)、チャンス・フォー・チルドレン(兵庫)、日向ぼっこ(東京)、山科醍醐こどものひろば(京都)、YouthLINK(東京)〈50音順〉

【第2部】10時～11時30分

当事者の訴え

父を亡くした小川和泉さん＝愛知県立加茂丘高校2年、児童養護施設で生活してきた安田和喜さん＝日本橋学館大学2年、20代のシングルマザーの方

ユースミーティング版大綱案発表 高橋遼平・実行委員長

来賓あいさつ 山本ゆきさん(故山本孝史・参議院議員夫人)

政府・各党代表のご発言

下村博文・文部科学大臣、岩渕豊・内閣府子ども若者・子育て施策総合推進室長、小野太一・厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課長、自由民主党＝赤枝恒雄・衆議院議員、公明党＝古屋範子・衆議院議員、民主党＝山井和則・衆議院議員、日本維新の会＝鈴木望・衆議院議員、みんなの党＝三谷英弘・衆議院議員、日本共産党＝高橋千鶴子・衆議院議員、生活の党＝小宮山泰子・衆議院議員、社会民主党＝福島みずほ・参議院議員

【パレード】12時～13時 日本青年館→外苑前→表参道→明治神宮前→神宮通公園

子どもの貧困対策法にみんなの力で魂を入れましょう！

高橋遼平・STOP！子どもの貧困ユースミーティング実行委員長
(中央大学3年・あしなが育英会大学奨学生)



本日は、「STOP！子どもの貧困東京ユースミーティング」にご参加いただきありがとうございます。心からお礼申し上げます。

声をあげることができない子どもたちのために、私たち学生が社会にその声を届けなければならないのではないか、そのような思いから「STOP！子どもの貧困ユースミーティング」の企画が始まりました。

もうはつきりと子どもとは呼べない世代ですが、経済的・精神的にはまだ大人とも言い切れない私たち学生こそが、もっとも大人に近い子どもとして、もっとも子どもに近い大人として、子どもと大人との橋渡しをしなければならない、そう思ったんです。

私もまた、子どもの貧困の当事者です。父は、私が中学1年の秋に亡くなりました。自分の会社の負債を、生命保険金で返済しようとして自殺しました。しかし、保険金はおらず、母は自己破産しました。1日中、母は泣きました。自殺で最愛の夫を亡くした悲しみを誰にも相談できないまま、それでも母は、私と当時小学5年生だった妹のために、飲食店の事務職に就き、毎日、夜遅くまで働いてくれました。

進学のためのお金がなかった私が北海道から東京の私大への進学できたのは、日本学生支援機構とあしなが育英会の奨学金、そしてあしなが育英会の学生寮で月1万円の寮費で生活できるためです。父の死を無駄にしたいくない、母の努力を裏切りたくない。そう思いながら、生活しています。

しかし、あまりにもひどい子どもたちの現実を知るたびに深く心が痛みます。子どもの貧困率は、15.7%で326万人の子ども(17歳以下)が貧困にあえいでいます。ひとり親世帯の貧困率は50.8%で、OECD34か国で最下位です。お金がないだけでなく、「多くの子どもができることができず、持っているものを持っていない」など、あらゆる機会が奪われています。そして、貧困が親から子へと受け継がれてしまう貧困の連鎖。この負の連鎖を断ち切らなくては！と生まれた法律が「子どもの貧困対策法」です。

しかしながら、「子どもの貧困対策法」ができただけでは、子どもの貧困はなくなりません。まだまだわかっていない子どもの貧困の実態を徹底的に明らかにして、どのような政策が子どもの貧困対策に効果があるか、などのプランが必要です。それらを、子どもの貧困対策の「大綱」の中に書き込んでもらわなくてはなりません。

この「大綱」は、今年7月までに策定されることになっています。そこで本日、私たち学生たちが中心となって、政府・各党の代表の方々に「ユースミーティング版大綱案」を提出し、実効性のある大綱の策定を求めます。

どうか、子どもたちが誰ひとり見捨てられることなく、ひとりぼっちになることのない社会の実現のために、これからも一緒に前にすすんでいきたいと心から願っています。

今後ともよろしくお願いいたします。



東京ユースミーティングには、北海道から沖縄まで 250 人の学生が参加した



下村博文・文部科学大臣「大綱を含め、みなさんの努力が報われるように我々は一生懸命に対応する」



外苑前・表参道・明治神宮前・渋谷をパレード。街頭の方々にも理解を求めた



パレード終了後の学生たちのこの輝いた顔をぜひご覧ください！

子どもを誰ひとり見捨てない・ひとりぼっちにしない社会に
—「ゆりかごから就職まで」切れ目のない温もりあふれる支援を—
STOP! 子どもの貧困 ユースミーティング 子どもの貧困対策大綱案

子ども一人ひとりの希望に満ちた未来＝日本の明るい未来

■見えにくい子どもの貧困の実態を徹底的に見える化する

- ・多くの諸外国と同様に子どもの貧困の削減目標の設定を
- ・生活保護世帯だけではなく、子どもの貧困世帯全体の実態把握を
- ・お金、剥奪経験、健康、教育、社会生活など多面的な実態調査を
- ・高校や大学などへの進学率のみならず、中退率の把握を
- ・子どもの貧困率を都道府県別でも公表を

■継続して効果の高い子どもの貧困対策をすすめるために

- ・「子どもの貧困対策基金」を政府や企業がお金を出しあって設立を
- ・当事者、支援者、有識者などによる恒久的な「子どもの貧困対策審議会」の設置を
- ・政府が一丸となって対策推進のため、内閣府に「子どもの貧困対策室」の設置を
- ・子ども自身も関わって、貧困対策の評価と検証の仕組みづくりを

■だれもが安心して大学や専門学校に通えるために

- ・日本学生支援機構奨学金は、すべて無利子にして返還は「出世払い」に
- ・国公立も私立も大学・専門学校の授業料の減免制度の大幅拡充を
- ・学生寮や住居費用の支援を
- ・悩みを抱える学生が、互いに話し合えるネットワーク構築の支援を

■きめ細かい小学校・中学校・高校での教育支援の充実

- ・高校生への「奨学給付金」は、だれもが月1万円に増額を
- ・小・中学生への学用品など就学援助を全国一律に充実し、全家庭に制度の広報を
- ・定時制や通信制高校などへ重点的に予算を増やし、生徒をより大切にする教育を
- ・学習支援などの充実で、放課後や週末の教育格差をなくしてほしい
- ・中卒・高校中退しても再度、高校などに進学できるための手厚い支援を

■すべての子どもに「支援情報」を届ける仕組みを

- ・スクール・ソーシャルワーカーの全校・全園・全所配置を
- ・学校や保育園、保健所や児童館などを拠点にした子どもの貧困対策を
- ・行政サービスはワンストップに。家庭訪問などで「出前」サービスも

●親も子どもも頼りにできる「場」と「人」を

- ・家庭や学校だけでなく、地域や社会全体で育てていく仕組みや文化の構築を
- ・遊べたり、宿題したり、お兄さんやお姉さんが見守ってくれる居場所づくりを
- ・一人ひとり、それぞれの家庭に寄り添った伴走型の支援体制を
- ・地域の力を活用し大きく育てるために、コミュニティ・ソーシャルワーカーの配置を

●親の安定就労と所得の再分配の強化こそ、子どもの貧困解決の大きなカギ

- ・正規雇用で働けるために、あらゆる支援の強化
- ・男女の賃金格差をなくし、最低賃金の引き上げを
- ・病児保育や学童保育などの充実で安心して子どもを預けて働ける環境に
- ・税金や社会保険料の負担を軽くし、さまざまな社会保障給付の拡充を

●安心して医療を受けられ、十分な食事ができるように

- ・低所得者世帯の親子の医療費は、全国一律に本人負担の軽減を
- ・お金の心配をせずに母子ともに安心・安全な出産や育児ができる体制を
- ・ジャンクフードではなく、栄養バランスのとれた食事の提供を
- ・学校などで給食の全校実施と無料化を。夏休みなど長期休暇中も給食の提供を

●OECD諸国で最悪の貧困率であるひとり親世帯へ重点的な経済支援を

- ・児童扶養手当の増額、とくに2人目以上の子どもへの加算の増額
- ・遺族年金や児童扶養手当の子どもへの支給を20歳までに延長

●児童養護施設などの子どもたちへのさらなる支援を

- ・高校卒業後の支援が不十分、20歳までの措置延長を
- ・高校中退を防ぎ、大学・専修学校へ安心して進学できる経済支援を
- ・職員の増員・給料アップ・離職防止などで子どもに寄り添う人をしっかりサポート

〈STOP!子どもの貧困 東京ユースミーティング 参加団体〉

あしなが育英会(東京)、あっとすくーる(大阪)、NPO佐倉こどもステーション(千葉)、キッズドア(東京)、ここわらねっと(北海道)、さいたまユースサポートネット(埼玉)、しんぐるまざあず・ふおーらむ(東京)、チャンス・フォー・チルドレン(兵庫)、日向ぼっこ(東京)、山科醍醐こどものひろば(京都)、YouthLINK(東京)、ゆずりは(東京)

【50音順】